**○○○○自治会**

**20 年度 消防訓練 企画書**

1. **概　　要**

**目的**：　火災発生時の取るべき行動を確認し、より多くの入居者が参加・体験して、毎年繰り返すことで、アパート全体の実用的防災力と共助の力を高める。

**特徴**： 発煙筒使用、非常ベルを鳴らすなど、現実味のある訓練

**日時**：　20 年 月 日（日）9：3０非常ベル鳴動、小雨決行・荒天縮小

**係員集合時間：** 9：0０（役員は8：3０集合、正副会長による縮小判断は8：3０までに決定・周知）

**避難場所**： 駐車場（受水槽前）

**火災想定場所：** 1号棟000号室前、 2号棟000号室前、3号棟000号室前

**訓練内容**： 避難訓練→総合訓練、安否確認シートの掲示、非常用持ち出し袋携帯

体験訓練→水消火器、簡易トイレ、住宅情報盤＋非常ベル押

**主催**： ○○○○自治会

**協力**： ○○消防署、

**役割説明会**： 20 年 月 日（ ）00：０0（簡易リハーサル実施を検討）

**告知**： チラシ全戸配布00月中旬、近隣お知らせ文書00月00日頃

**備考**： 終了後に消防車両の見学を実施（子どもを中心に参加促進）

1. **体験訓練の配置と実施内容・方法** ※全て屋外で実施、小雨時のピロティ使用を検討

避難訓練の整列・点呼後、棟毎の3グループに分かれ、各体験訓練（各15分）を実施

* 1. **配置：**体験訓練の配置イメージは下図の通り。

③住宅情報盤+非常ベル押

15分交替

①水消火器

②簡易トイレ



進行係

2号棟グループ

****

進行係

約10本

4人一組

5～6組

進行係

受水槽

3号棟グループ

整列場所

※棟・階ごとに整列

約1ｍ間隔

me

1号棟

2階・3階 …6階

2号棟

2階・3階 …6階

3号棟

2階・3階 …6階

1号棟グループ

* 1. **実施内容・方法**（指導）【消防署員計7名】
1. 水消火器（消防署）

正しい操作手順と初期消火の有効性、消火器の仕組み等を学ぶ。

1. 簡易トイレ（自治会：飯島+2名）

市販の簡易トイレを使い、非常時に自宅トイレですべき操作と凝固剤等を使った汚物処理の方法を4人一組で学ぶ。簡易トイレ3回分を全戸配布。

1. 住宅情報盤+非常ベル押（船戸：県事業コーディネーター、協力：アイホン株式会社）

各戸設置の住宅情報盤（インターホン）の非常用機能と使い方や非常ベル・火災報知器との連動・非連動を学ぶ。また、非常ベルのデモ機では、押す際に必要な力を体験するほか、一部役員はベルの解除方法を学ぶ。

1. **役割分担**

１号棟-2グループ

「役割分担表」参照。自治会役員のほか、7～9月の班長等が担う。

Ａブロック

1. **内容（タイムスケジュール目安）**

　8：3０　　　実施可否判断、役員集合、準備開始、希望者向け役割説明と確認

　9：0０　　　係集合 打合せ（役割分担確認）

　9：2０　　　係配置（9:29発煙）

　9：3０　　　火災発見　非常ベル鳴動（3分間）、避難開始

避難訓練

　9：31　　　各係が2階の受信盤確認（火災を目視できれば省略可）

　9：32　　　初期消火、避難誘導、通報（119番1名、役員携帯2名）

20分

　9：4０　　　受水槽前集合　点呼→集計→消防署員への避難状況報告

　9：5０　　　各種体験訓練（棟毎、15分×3回）

10：40　　　結果発表と講評（消防署員）

10：48　　　挨拶と連絡（防犯防災部、会長ほか）

10：50　　 訓練終了、消防車両見学、片付け（参加者に手伝い呼びかけ）

11：10　　 撤収

1. **事前に準備するもの**（担当者）

|  |  |
| --- | --- |
| 近隣へのお知らせ文書（○○） | 点呼用記入票・クリップボード（○○） |
| 全戸配布用チラシ（○○） | 役割分担表・実績記入票（○○） |

1. **当日用意するもの**（担当者）

|  |  |
| --- | --- |
| 係用腕章（○○） | 発煙筒・砂入りバケツ3組（○○） |
| 整列用プラカード15本（○○） | 本部用テーブル 3台（○○） |
| マイク・拡声器3台（○○） | 時間計測用ストップウオッチ２個（○○） |
| 手指消毒用アルコール10個（○○） | アルミマット8枚（○○） |
|  | 水消火器7本（大船渡消防署）3本（○○） |

以上